

葛原ダム

私立荒玉女子高校
ダム部
活動日誌 Vol.2

「ダムマンガ」聖地巡礼ガイドブック

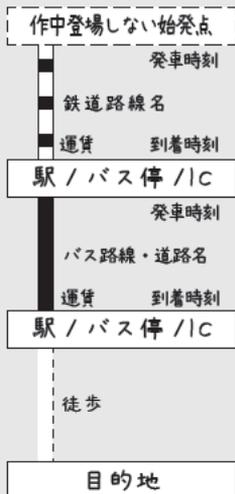
ダム日和

私立荒玉女子高校
ダム部
 活動日誌 Vol.2

「ダムマンガ」聖地巡礼ガイドブック

ダム日和

経路図の凡例



発車・到着時刻は作中で特定できる場合のみ表記します

- CONTENTS -



菌原ダム

群馬県沼田市 / 利根川水系方品川

形式：重力式コンクリートダム
目的：洪水調節・河川維持・発電
事業者：国土交通省関東地方整備局
堰堤高：76.5m 堰堤長：127.6m
完成年：1965年



練馬 IC

関越自動車道

沼田 IC

国道120号
県道267号線
17km

菌原ダム

登場話：8基目

マイカーのある空見先生にダム部の顧問をお願いするため、青山さんの機転で行くことになった蘭原ダム。利根川の支流、方品川の洪水調節を一手に担う国土交通省のダムであり、オカルト方面では心霊スポットとして有名な場所なのだそうです。

作中通り自動車利用の場合、関越自動車道を沼田ICで降りて17km40分ほどのところにあります。このとき国道120号を経由してダム上流方面からアプローチするルートと途中で県道62号線に折れてダム下流方面からアプローチするルートがあります。

・作中使用している駐車場が、ダム下流側にある管理所横の広い駐車場ではなく（地図 a）上流側に入り口があるダムすぐ横の駐車場（地図 b）であること

・蘭原ダム周辺の心霊スポットはダム湖上流側にあり、道すがら場所を確認できること
・県道経由の場合途中で群馬県の管理する平出ダムがあるが部長が特に反応してないこと
などを勘案するに国道120号からのルートを使用したのではないかと思われま

す。
ところで、作中で青山さんが「蘭原ダムは本数の多いバス停からは遠くて、近くのバス停は本数が極端に少ない」と話しています。蘭原ダムのすぐ近くに「園原ダム」というバス停（地図 c）があるのですが、ダムの近くにある「根利」という集落と尾瀬高校を結ぶ1日数本しか走らずJRの駅なども連絡しない路線のバス停なので、首都圏からのダム巡りには使えないバス停でしょう。また、JR

上越線の沼田駅を経由して国道120号沿いを走り丸沼高原方面に向かうバスは本数は多いものの、ダム最寄りの停留所からバス停まで5kmほど徒歩で移動する必要があるなど、確かにこのダムへはバスで行くのは厳しいものがあります。

さて、Googleで「蘭原ダム」と検索すると「心霊」がサジェストされる程度に1帯は心霊スポットとして知れ渡っているようです。ダム周辺の心霊スポットの一つ「宿泊施設の廃墟（地図 f）」ですが、現在太陽光発電所として改装されて使用されており、また直下が蘭原ダムのダム湖利用者向けの駐車場として整備されていて、現在そこから眺めることができます（地図 g）。太陽光発電所から、日照が大切なので、現在廃墟1帯は日当たりのよいすっきり開けてしまった感じになっています。この、開けつびろげになった心霊スポットの台無し感に、心霊スポットって微妙なバランスで成り立っているんだなみたいな感じを感ずります。



太陽光発電所になった廃墟

「菌原湖」の看板みつけた!



空海先生の車に乗って
やって来たのは群馬県沼田市



山道トンネルくぐり抜け...



山道を抜けたら菌原湖!



そして現れた ~~恐ろしい~~ 菌原ダム!!
かっこいい!!!



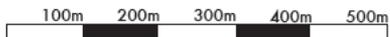
菌原ダムが誇る(?) 恐ろしい心靈スポットの数々...



ダムカードをもらった
菌原ダムの管理所は
崖っ324にがあります

蕨原ダム

群馬県沼田市



1:10000

ダムめぐりルート



形式：アースフィルダム
目的：かんがい
事業者：千葉県
堰堤高：28.3m 堰堤長：110m
完成年：1962年（昭和37年）



金山ダム

千葉県鴨川市 / 賀茂川水系金山川

浮島JCT

東京湾アクアライン/
館山自動車道

君津IC

房総スカイライン/
鴨川有料道路/
県道24号線
38km

前原海岸海水浴場(鴨川)

県道24号線
8km

金山ダムバス停

徒歩

600m

金山ダム

登場話：10基目

空海先生の臨海学校の下見に付き合わせられることになり、ダム部の1年生組が先生の車に乗せられて向かったのは千葉県は鴨川の手海。

本文中(80ページ)にある地図によればアクアラインを通り房総スカイラインから鴨川有料道路へと鴨川までのメインストリートを通り抜けていきます。たどり着いた海岸は「前原海岸海水浴場」、JR安房鴨川駅を出てまっすぐ歩いたところにある海水浴場です。作中海開き前でしたが、実際に行ってみると海水浴をする人はいないもののサーファーで意外と賑わっています。まあ、スクール水着の女子高生は目立つかもしれませんが。

さて、臨海学校の下見を終えて向かったのは鴨川からほど近いところにある金山ダム。新しい肝だめし大会の候補地として黒部さんたちが歩かされるこの山道ですが、途中2箇所あるトンネル内の照明以外は全く明かりがなく、しかも道沿いには民家もない夜になれば完全に真っ暗闇の600mほどの山道という、高校の臨海学校の余興で行われる肝だめしの会場としてはあまりに本気すぎるコースになっています。海岸からも7kmほど離れていて、移動のことを考えると果たして本気でこのコースを臨海学校の肝だめし大会の新コースにする気があったのかという疑問が湧いてきますが、次話(11基目)で空海先生が校長先生に「不必要に生徒を車に乗せるな」と怒られたと話しているあたり、この下見の実績を基に本気で新コースを提案していたという気がしなくもありません。

なお、金山ダムの天端方面は二つ目のトンネルの手前を左に入ると行けるはずなのですが、現在、入り口にゲートがあり立ち入ることはできず、ダムの堤体も道沿いから遠くに眺められる程度なので、日中に訪れても比較的に見学者には厳しいダムになっています。

ところで、ドッキリを仕掛けるために金山ダムで待ち伏せしていた部長、どうやら高速バスでここまでやってきたようで、調べてみると京成バス・日東交通が共同運行する「浜松町・東京駅〜かずさパーク・安房鴨川駅」という路線があり、「福祉センター前」というバス停で下車すると金山ダムまで4.5kmほどのところで下車することができます。上りの最終バスは20時56分に通過するというところで、20時すぎくらいには出ないと間に合わないことになります。肝だめしを始めたのはすっかり日が暮れてからですから、八田部長、すくなくとも1時間以上ダム湖周辺で準備して待っていたわけで、まあよくあんなところに居られたなど、部長の肝の座りかたとかダム愛というか、まあ、それには、ただただ感心するばかりです。



金山ダムの洪水吐(日中撮影)



川崎からアクアラインを通過して
千葉は鴨川の臨海学校へ!

サーフィンの人はいる。



海開き前の海だー! 泳いでる人いないー!



日が暮れて空海先生に
連れてこられたのは
あまりに本格的すぎる
肝だめしコースでした!!



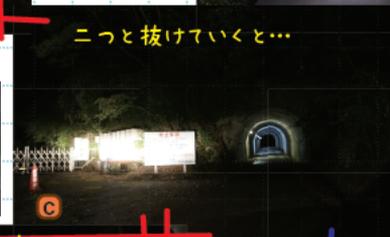
トンネルを一つ



二つと抜けていくと...



金山ガムの吊橋に!



ライトがあるのは
トンネルだけ



金山ダム

鴨川有料道路

金山

金山ダム

千葉県鴨川市

100m 200m 300m 400m 500m

1:10000

ダムめぐりルート

三国川ダム

新潟県南魚沼市 / 信濃川水系 三国川

形式：ロックフィルダム
目的：洪水調節・河川維持・発電・上水道
事業者：国土交通省北陸地方整備局
堰堤高：119.5m 堰堤長：419.5m
完成年：1993年



JR 東京駅

上越新幹線

8,200円

JR 浦佐駅

国道17号線 /
県道233号線

27km

三国川ダム

県道233号線 /
県道28号線 /
国道291号線 /
国道352号線

41km

栃尾又温泉

登場話：12基目

2話にまたがるダム部の初の夏季合宿、前半で取り上げられているのがこれまたダム部の北陸地方、新潟県南魚沼市にある国土交通省の管理するロックフィルダムの三国川ダム(周辺地図b)です。

作中では東京駅から上越新幹線に乗車し新潟の浦佐駅(周辺地図a)で下車、そこから青山さんのいとこの鈴木夜乃香さんの運転する車で21kmほどの道を移動しています。この行きに乗った「とき305号」と説明がある新幹線は浦佐駅に停車する上越新幹線の下り列車としては始発から2本目の列車でして、いかに早く現地についてダムを回りまくりたかったかという部長の感情の高まりを感じます。ちなみに、この「とき305号」は北陸新幹線開業などに伴う2015年3月のダイヤ改正で無くなってしまい、現在作中通りに移動することはできないようです。また、三国川ダムへはJR上越線の六日町駅から三国川ダムへ向かうバスが運行されていて公共交通機関のみでも行くことができるようです(南越後観光バス・六日町―宮村―野中―しゃくなげ湖線)。

さて、三国川ダムに到着した一行は、監査廊見学に申し込んでダムの中を見て回りまです。この見学会、春から秋にかけての土日祝日を含む毎日(月・火曜日及びダム点検時等の場合休止)実施されているもので、参加方法も作中にある通り当日三国川ダム情報館の入口にある受付の電話から申込みばよいという大変お手軽な見学会です。普段は滅多に見られないダムの中を見ることができるとい

タイミングが合えば常用洪水吐からの大迫力の放流を間近に見ることができます。平日は1日4回、土日祝日は1日5回予定されていて、参加締め切りは各回の10分前。平日土日も初回は10時ということで、ここでも部長がスケジュールを詰めてる感じがわかります。

このあと、ダム左岸側のふもとにある「しゃくなげ観光センター」にて「三国川ダムカレー」を食べたあと奥只見ダムへと向かいますが、途中で部長がとうとうダウンしてしまします。このシーンで描かれている公衆トイレは奥只見シルバラインの入口にある休憩施設(周辺地図c)のもので、三国川ダムからは30km以上はなれたところにあり、まあ、我慢に我慢したもののついにという感じなのでしょううか。

ちなみに、今回青山さんの親戚が営んでる温泉旅館のモデルになっているのが栃尾又温泉(周辺地図d)です。千二百年前に発見されたという由緒あるラジウム泉の湯治の湯で現在3件の旅館があります。作中で描かれた温泉は共同で運営されているもので、どの旅館からも入ることができます。温泉旅館というとちよつと敷居が高いイメージがありますが、湯治場の歴史を持つ温泉という由来のおかげか、少人数向けの部屋があつたりと、一人からでも気軽に泊まることのできる温泉です。

ダム部初の夏合宿は新潟県魚沼地方！
上越新幹線の浦佐駅を降ります



駅前から伸びる
まっすぐな道を進むと



情報館の受付の電話で
三国川ダムの
監査廊見学を
申し込みます

ロックフィルダムの三国川ダムが目の前に！



エレベーターで
降りていくと
気温10℃の
別世界！



ダムカレーを
食べて、いざ
奥只見ダムへ！

常用洪水吐からの放流！



仕方がないので
今日のダム巡りはここまで。
栃尾又温泉に泊まります…



…のはずが、部長が
まさかのダウン！

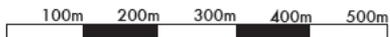


監査廊を進んだ
先にあった
扉の向こうは…



三国川ダム

新潟県南魚沼市

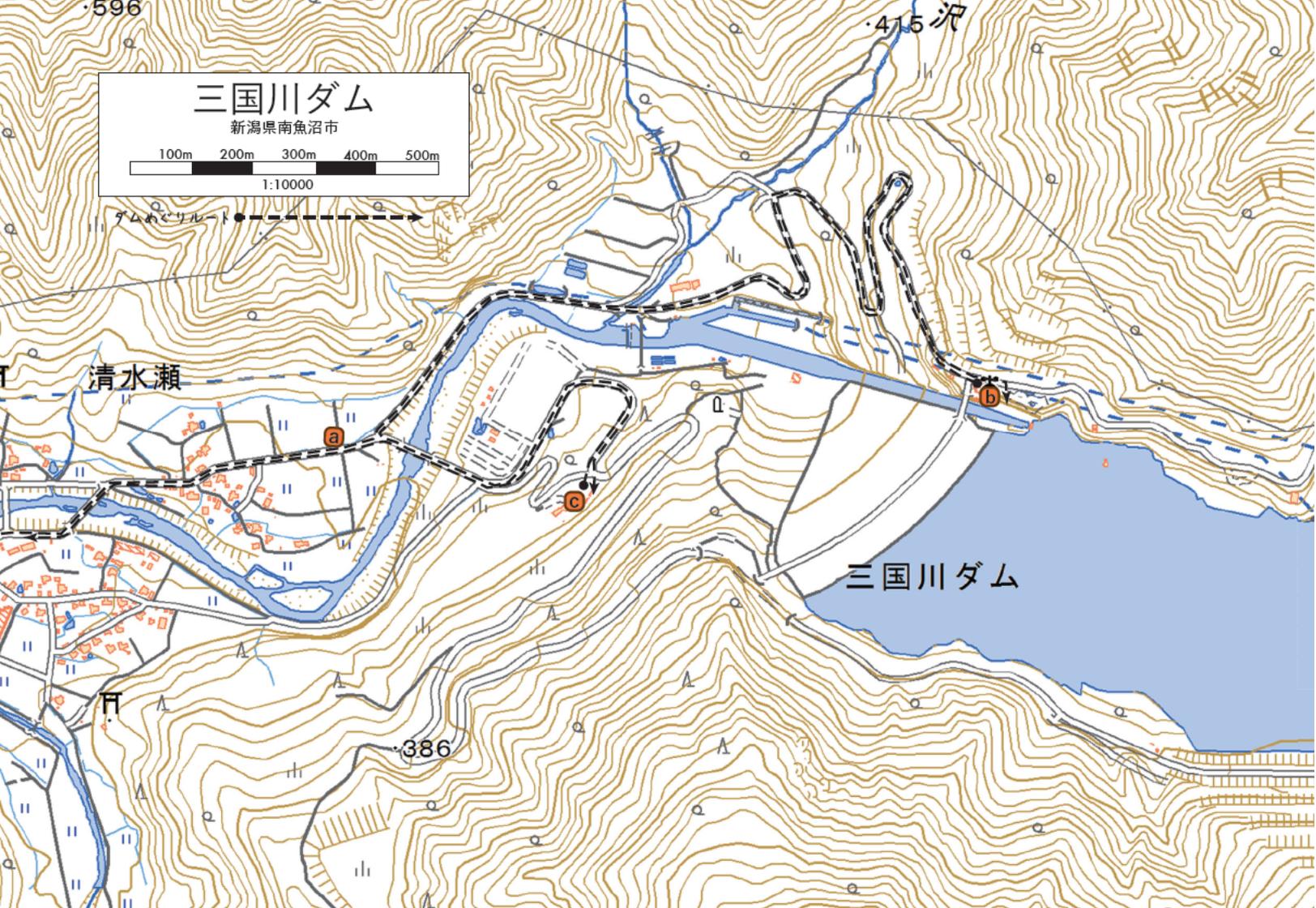


1:10000

ダムめぐりルート

清水瀬

三国川ダム



奥只見ダム

形式：重力式コンクリートダム
目的：発電
事業者：電源開発
堰堤高：157m 堰堤長：480m
完成年：1960年

新潟県南魚沼市・福島県会津郡桧枝岐村 / 阿賀野川水系只見川



栃尾又温泉

奥只見シルバーライン

25km

奥只見ダム

登場話：12 基目

新潟合宿2日目、部長の体調もすっかり回復して、一同向かうのは奥只見ダム（周辺地図e）。1960年に竣工したJ-POWER R（電源開発）の所有する日本を代表する発電専用ダムです。奥只見ダムまではダム建設の工事専用道路として作られ現在は一般に開放されている奥只見シルバークラインを利用します。栃尾又温泉から奥只見シルバークラインの小出側入口までは2kmほど、そこからはひたすら急勾配のトンネルが続く道を進んで行きます。

長いトンネルを抜けると奥只見湖観光客向けの広大な駐車場に到着します。物部さんには評判が悪かったですが、駐車場周辺はレストハウスなどが充実していて食事したりすることには困らないでしょう。なお、2015年7月から「奥只見ターミナル」の食堂にてダムカレーがメニューに加わったそうです。

さて、ここからダムの方に向かうわけですが、ダム天端は駐車場より50mほど標高が高いところがあり、たどり着くには歩いて登るか作中のようにスロープカーを利用する必要があります。

終点のダム広場から湖畔沿いをすこし歩くと遊覧船「ファンタジア号」の乗船場にたどり着きます。19世紀後半のアメリカ・ミシシッピ川を航行していた外輪船をイメージして作られたという船で、黒部さんも浮かれるファンタジックな内外装。奥只見湖内を40分ほどかけてぐるっと一周します。ちなみにこの乗船場からは遊覧船のほかにダム湖上流にある銀山温泉や尾瀬方面に行くことができる船が

出ています。奥只見湖は新潟県側の尾瀬の玄関口でもあるわけですね。

このあと一行はダムまで戻ったあとに、夜乃香姉さんの計らいで奥只見ダムと発電所の見学することができるのですが、奥只見ダムのダムPR施設であるJ-POWER奥只見電力館では実際に一般の見学を受け付けていて、申し込めば作中と同じようにダム監査廊や地下にある発電所、そして直下からダムを眺めることができるようになっていきます。現在土日含む毎日、当日奥只見電力館で申し込み受け付けをしているようですが、日によっては実施していない場合もあるそうなので、事前に奥只見電力館まで確認するのが良いでしょう。



奥只見電力館(奥只見ダム左岸)



奥只見シルバーラインの
長いトンネルを抜けると...



a

現れたのは
奥只見ダム！



地下式の
発電所！



e

そして、奥只見ダムの直下ビュー!!



こちらは物部さんには不評な
レストラン



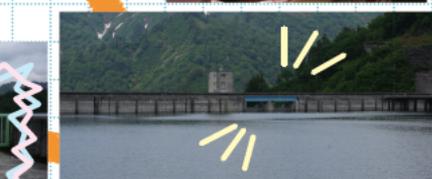
b



特別に
ダムの中の
見学会!



スロープカーで登った先は...



ラジアルゲートもよく見える!



c



奥只見湖に行く
遊覧船ファンタジア号!

ダムの天端は途中で立入禁止だけ...

奥只見ダム

新潟県南魚沼市・福島県会津郡檜枝岐村

100m 200m 300m 400m 500m

1:10000

ダムめぐりルート

奥只見

奥只見発電所

奥只見ダム



黒又ダム

新潟県魚沼市 / 信濃川水系黒又川

形式：重力式コンクリートダム
目的：発電
事業者：東北電力
堰堤高：24.5m 堰堤長：228.4m
完成年：1926年



奥只見ダム

奥只見シルバーライン
国道352号線
国道252号線
55km

黒又ダム

登場話：12基目

さて、ダムマンガ2巻作中で登場するダム部の面々が実際に訪れたダムは蘭原ダムから奥只見ダムまでの4基のダムでした。しかし13基(話)目の最後、奥只見ダムを堪能したあとに帰りの新幹線まで時間があるということで向かおうとしているダムが1基あります。奥只見ダムの北、魚沼市にある黒又ダム(周辺地図f)です。

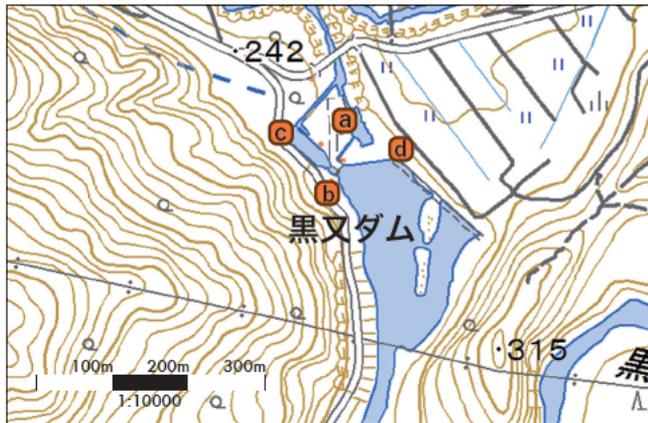
黒又ダムは現在東北電力の所有する発電専用の重力式コンクリートダムで1926(大正15)年に竣工した近代的なダムとして初期の時代に作られた歴史のあるダムです。コンクリートダムですが、ダムの表面は四角く整形した自然石を積み上げることによって覆われていて、石積みの風合いと緻密な目地の模様で独特の美しさがあるダムです。また、ダム右岸に伸びる大きな余水吐も迫力があります。また、左岸側にある魚道も見所のひとつ。さらに、黒又ダムはゲートなどなく水位が一定以上になるとダムを自由越流し始めるので、季節によってはダム全体を使って放流するダムを見ることができるといって楽しみもあります。

奥只見ダムから黒又ダムまではシルバラインを出て旧小出町市街地を通り会津方面へ55kmほどと、実際に行こうとするとちょっと距離があるダムです。あまりビューポイントはありませんが、ダムの下流に橋がかかっているところからダムを正面に眺めることができます。

ちなみに黒又ダム上流にはJ-POWERの所有する発電用の黒又川第1・第2ダムと

いう二つのダムがあるのですが、第1ダムより上流は災害による通行止のため現在ダムに行くことができません。また、黒又ダムへのアクセスルートの県道・黒又山大栃山線(500号線)は季節により道路の閉鎖が行われるのでご注意ください。

このほか、黒又ダムまでの道すがら見える藪神ダムや、黒又ダムからちよつと足を伸ばせば奥只見ダムの下流に作られた田子倉ダムなど只見川の大規模ダムを始め多くのダムがあります。新潟魚沼周辺はダムマニア的に見所には事欠かない、部長が徹夜で計画を立てるのも無理がないような一大ダムエリアとなっています。



黒又ダム周辺図



ダム左岸の魚道



ダム左岸から発電所取水口



取水口と沈砂池



右岸からダム下流の様子



右岸越流部



東北電力上条発電所水圧鉄管

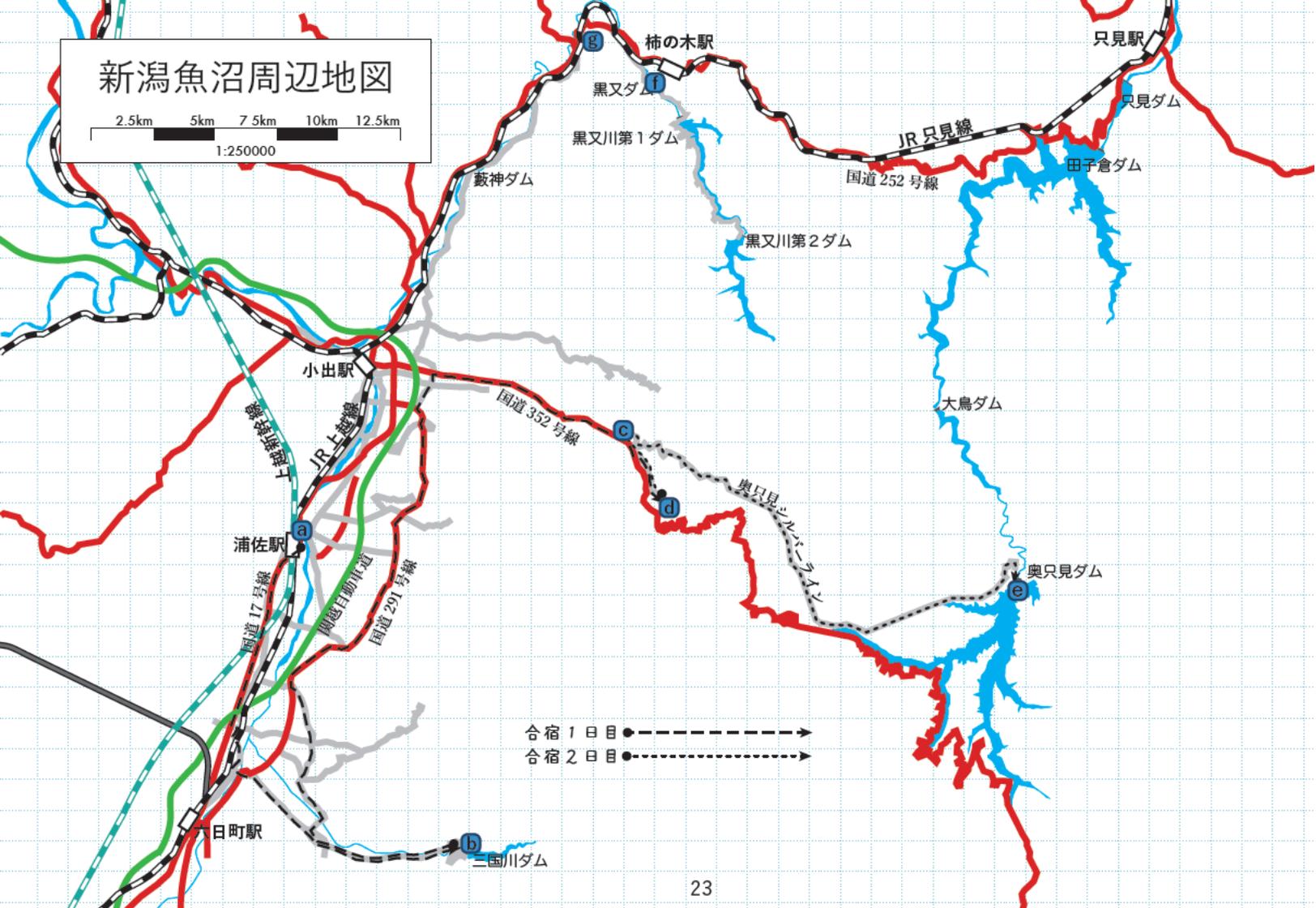
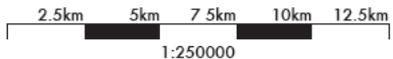


東北電力上条発電所水圧鉄管

■ 黒又ダム写真集

黒又ダムは訪れたところが描かれていないダムの為、いろんな角度から撮影した写真を掲載してみました。黒部さんたちが黒又ダムをみてどんなことを思ったのか、そもそもここまで来たのか、そんなことに思いを馳せるのもダムマンガ聖地巡礼の楽しみ方かな、と思います。

新潟魚沼周辺地図



合宿1日目 ●----->>>
合宿2日目 ●----->>>

本書は井上よしひさ著「ダムマンガ」(少年画報社 アワーズ GH 連載)を元に著者が独自に調査・取材した成果に基づくものです。

本書記載のダム諸元の情報はダム便覧(財団法人日本ダム協会)によるものです。

<http://damnet.or.jp/Dambinran/binran/TopIndex.html>

本書の現地取材は2015年5月に行いました。また、本書記載の交通機関の運賃や運行時刻は2015年7月現在のものです。

ダムめぐりの際は現地の指示に従い、十分安全に気をつけてください。

顧問の先生も決まって、ますます部活らしくなってきた「私立荒玉女子高ダム部」の活躍がこれからも続くことを願って。

「新潟魚沼周辺地図」の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図20万を使用した。(承認番号平27情使、第201号)

各ダム周辺地図については国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号平27情復、第240号)

各ダム周辺地図を複製される際は国土地理院長の承認が必要になります。

私立荒玉女子高校 ダム部 活動日誌 Vol.2

「ダムマンガ」聖地巡礼ガイドブック

2015年8月14日 初版第1刷 発行

編著・発行：ダム日和 (dammaps@gmail.com)

印刷・製本：株式会社ポプルス

本 PDF は 2015 年 8 月に発行した同名ブックレットをそのまま PDF 化して
無料配布するものです。

掲載の各種情報は刊行当時そのままのものを使用しています。

2020 年 10 月 11 日 : 初版

<http://dambiyori.sakura.ne.jp/dammanga/>

“DAM MANGA”
LOCATION GUIDE BOOK
Vol.2

ダム日和

ε(・ω・)≧
ε(・ω・)≧㊦㊦㊦㊦-